



## 第 14 回 例会 報告 (10月22日)

## 【 出 席 報 告 】

・会員数 54名  
 ・当日出席率 76.50%  
 <欠席会員>阿部、平田、小堀、久米、楠橋、見乗、宮道、大澤、坂本、辰巳、矢野、吉田  
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)  
 <10/8 欠席補填>(10/12 今治北)廣川、小堀、楠橋、宮道、大澤、田中、丹下、吉武 (10/13 今治南)平田、桑森、尾越

## ◇会長報告・出席優秀者表彰(18回)西本信保会員

・2019-2020年度のロータリー財団への年次基金一人当りの寄付額が地区で第2位になりました。5月に開催される地区大会にて表彰を受けます。

## ◇幹事報告・今年度の地区補助金プロジェクトの報告書が受理されました。これでこのプロジェクトは終了しました。

## ◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・桑森ひとみ会員：コロナ禍の中、免疫力を高める為、きっぱりとダイエットを止めました。ここ最近ではサプリメントにはまってしまい、どれが効いているのかわからない状態です。また1年間「元気はつらつ」頑張ります。▼八木正史会員：48歳ということで駅伝に例えると復路、野球で例えると5回を終わったくらいでしょうか。まだゴールに向かってというには少し早いかもしれませんが、1年間よろしくお願い致します。▼八木伸樹会員：昨年、目標とした糖質ダイエットは緩やかに続けており体重は維持しております。現在は話ができるような趣味が無いので、ひとつ趣味を見つけるという目標で1年間、頑張りたいと思います。

## 新会員卓話

◆安藤雅樹会員：入会してからいろいろとテーマを探していましたが、仕事以外の事を人前でお話できるテーマが思い浮かばず、電力に関するテーマを選択しました。本日のテーマは「省エネ」となります。経費削減として省エネがありますが、そのためにはまず電気料金の仕組みを理解すること。次に現状の使用状況を把握し、具体的な省エネ手法を試し効果を検証することです。電気料金は、基本料金・電力量料金・燃料費調整額・再エネ促進賦課金により構成されています。「燃料費調整額」とは火力発電の燃料である原油や石炭の価格変動をもとに毎月、自動的に電気料金を調整する制度です。新聞等に電気料金の値上げ・値下げと掲載されているのはこの事です。「再エネ促進賦課金」とは再生可能エネルギーを普及・拡大させる目的に発電した電気を電力会社が買い取る際の費用を消費者がご使用した電力量に応じてご負担いただくものです。来年4月までの1年間は、1kWhあたり2円98銭と決定しています。電気料金を削減する上では、基本料金が大きく関わっています。その中でも契約電力は、過去12ヶ月の最大需要電力のうち、最も大きい値となります。契約料金を10kW低減できた場合、一般的な工場でいうと年間の基本料金を13万円削減できます。省エネ対策の前にはしておくことはエネルギーの見える化です。どこでどれだけ使っているかを見える化をすることで、効果的な経費削減の近道となります。具体的な省エネ手法としては、「作る」「送る」「使う」に分けた手法になります。効率よく「作る」ところでいくと、LED照明への更新・空調のフィルター清掃・室外機の遮熱対策等があります。次のページにいきたいところですが、そろそろ時間になりましたので、残りは資料をお持ち帰りいただき、皆様の省エネ対策の参考にしていただければ幸いです。ご清聴ありがとうございました。

## 次回例会(10月29日)

## 【 大分類別卓話 】

<会員誕生日祝> 宮道 勝敏氏 (11/4)  
 <配偶者誕生日祝> 吉武 誠治氏 (10/29)  
 <結婚記念日祝> 吉武 誠治氏 (11/3) 山本 剛氏 (11/3) 渡邊 道信氏 (11/4)  
 眞鍋 次男氏 (11/4)

〔 根 岸 〕